

年間授業計画様式例

田無高等学校 令和5年度 公民科・現代社会 年間授業計画

教科 科： 公民 科 目： 現代社会 単位数： 3単位

対象学年組： 第3学年1組～7組)

教科担当者： (1組： 松田) (2組： 松田) (3組： 松田) (4組： 松田) (5組： 今村) (6組： 松田) (7組： 今村)

使用教科書： (『最新現代社会 新訂版』実教出版)

使用教材： ()

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	授業ガイダンス	授業内でのきまり 評価の方法 年間の授業計画 を理解させる	授業ノート提出 授業プリント提出	1
	第2部 現代の社会と人間 1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる 1 青年期とは	・「自分」の不思議な在り方に気づかせ、確立すべき課題としての、「自己」を発見させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	2 自己形成の課題(1)	・「第二の誕生」「マージナルーマン」等を学習し、青年期特有の不安を、客観的に理解させる。		
	3 自己形成の課題(2)	・青年期の課題を、アイデンティティの確立として捉え、生涯にわたる自己確立の視点を持たせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	4 職業生活と社会参加	・自分と社会の関わりについて考えさせるきっかけとさせる。		

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 1 民主政治の成立	・ 基本的人権の保障について、社会契約説の思想、自由権と社会権の成り立ち、法の支配、といった観点から理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	2 民主政治の基本原則	・ 基本的人権の保障という観点にたち、人の支配から法の支配に移行した理由・原因をおさえ、法の在り方について理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	3 民主政治のしくみと課題	・ 国民主権や議会制民主主義、少数意見の尊重の大切さなど、民主主義の実現に必要な不可欠な観点を理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	4 世界の主な政治制度	・ 英米中を中心に、各国の政治制度の特徴を理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第2章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本的性格	・大日本帝国憲法と日本国憲法を比較しながら民主主義の実現をみざす憲法の必要性について理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	1
	3 自由に生きる権利	・日本国憲法における基本的人権の概要を理解させる。 ・人権の根本である自由権について、市民革命史を振り返りつつ、その意義を理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	4 平等に生きる権利	・「法の下での平等」とは、どういうことなのかを実社会の例を考えつつ、理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	5 社会権と参政権・請求権	・自由権の考えと正反対の社会権が、どのような経緯で必要性が高まったかを理解させる。 ・参政権、労働三権など理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	6 新しい人権 7 人権のひろがりと公共の福祉	・日本国憲法成立当時からは考えられなかった人権について考えさせる。 ・新しい人権が生じた背景や根拠について理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	8 平和主義と我が国の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和主義に関する日本国憲法の条規について理解させる。 ・ 日米安保条約について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	9 こんにちの防衛問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日米安保条約と有事法制、自衛隊の海外出動の関係について理解させる。 ・ 集団的自衛権について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	1学期のまとめ	1学期におこなった学習内容をおさらいし、学習内容の定着を図る。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	1

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	第3章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国会議員が全国民を代表することの意義について理解させ、考えさせる。 ・ 国会の権限と構成、課題について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	2 行政権と行政機能の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣についてその機能と構成、課題について理解させる。 ・ 行政権の拡大についてとそれを解消するための行政改革について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	3 公正な裁判の保障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司法権の独立、違憲立法審査、統治行為論について理解させる。 ・ 司法制度改革について理解させる。 ・ 刑事裁判と裁判員制度 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	4 地方自治と住民福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治の本旨について、理解を深める。 ・最近の地方自治の課題について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	5 政党政治 6 選挙制度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政党政治の特徴、各選挙制度の特徴をふまえたうえ、現在の日本の選挙制度について理解させる。 ・有権者としての意識を高める。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
	7 世論と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・世論の形成にかかわるマスメディアのあり方について理解させる。 ・政治的無関心の危険性について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	1
	3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1 経済主体と経済活動の意義 2 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立と特徴、社会主義経済の成立と特徴について理解させる。 ・資本主義の課題と、修正資本主義への変化の必要性やその課題を理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3

指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 市場のしくみ 4 市場の失敗	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働き、価格作用、寡占市場などの経済学の基本を理解させる。 ・市場の役割とその限界について考えさせる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
5 現代の企業 6 国民所得 7 経済成長と国民の福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社のしくみ、企業の特徴や社会的責任について理解させる。 ・経済規模をはかる指標、景気変動について理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
8 金融の役割 9 日本銀行の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の働きや通貨制度、金融政策などについて理解させる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3
10 財政の役割と租税 11 日本の財政の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・財政政策について理解させ、日本の財政課題について考えさせる。 	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3

11
11
月

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	第2章 日本経済の特質と国民生活 1 戦後復興から高度経済成長へ 2 安定成長からバブル経済へ 3 日本経済の課題	・戦後復興期から高度成長、バブル経済、長期不況などの流れを理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	4 日本の中小企業 5 日本の農業 6 消費者問題 7 公害の防止と環境保全	・日本における諸問題を理解させる。 ・経済成長と公害の関係、公害対策と地球環境問題について理解させる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	8 労働問題と労働者の権利 9 こんにちの労働問題 10 社会保障の役割 11 社会保障制度の課題	・労働基本権、労働三法について理解させ、労働のあり方について考えさせる。 ・社会保障制度の概要を理解させる。 ・社会保障制度の課題を考えさせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	3

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	1 青年期と自己の形成 第2章 人間としてよく生きる 1 哲学と人間 2 宗教と人間	・ギリシア哲学を通して、人間の生き方・在り方についての認識を深めさせる。 ・世界3大宗教について、基本的な知識を得ることで、現代社会の抱える問題について考えさせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	3 科学と人間 4 自由の実現 5 人間と幸福	・帰納法と演繹法など、科学的な思考法について理解を深め、理論の深め方を理解させる。 ・カントやヘーゲルなど人間の意志と道徳の在り方についての理論を学び、人間にとっての幸福とは何か考えさせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	6 人間性の回復と主体性の確立 7 他者の尊重	・人間にとって、労働や自由はどのような意義をもつものか考えさせる。 ・他者を尊重するとは、どのような態度なのか様々な偉人の生き方を紹介することで考えさせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2
	第3章 日本人としての自覚 1 古代日本人の思想と仏教思想の展開 2 外来思想の受容と日本の思想	・八百万の神、神道などの日本古来の宗教観・倫理観を学習させ、日本人の在り方についての認識を深めさせる。 ・仏教、儒学、西洋思想など、日本人が異文化や外来思想をどのように受け止めてきたのかを学び、現代日本人の思考について考えるきっかけとさせる。	授業ノート提出 授業プリント提出 定期考査	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				